

第 24 回中小企業問題研究会・交流会開催結果報告(於:東京都多摩)

Report of the 24th Meeting and Exchange for the Study of Small and Medium-sized Enterprises

中小企業交流実行委員会、プロジェクトチーム西東京業務開拓センター

技術士の知名度向上と中小企業の更なる発展への寄与を目的に開催している、中小企業問題研究会・交流会は 24 回目を迎え、初めて東京都多摩地区を中心に「知と技術の交流で産業に活力を—イノベーションで東京の未来を切り拓く—」をテーマに開催した。その概要を報告する。

The Meeting and exchange for the study of small and medium-sized enterprises are being held every year in Kanto-Koushinetsu Area. The 24th meeting was held in TAMA region at the West of Metropolitan Tokyo for the first time. The theme of meeting is “To create the vitality of industry by means of collaboration/interchange between intellect and technology—Develop the future of Tokyo through Innovation—”. Abstract for the meeting is as follows;

キーワード: 中小企業、東京都多摩地区、知と技術の交流、イノベーション、技術士

1. はじめに

「第 24 回中小企業問題研究会・交流会」は、平成 20 年 2 月 8 日、東京都立川市において関係官庁・団体・企業関係者（企業内技術士含む）86 名、技術士（専業）62 名、総計 148 名の参加を得て盛大に開催された。地域技術士会が無い多摩地区としては予想以上の成功であった。

2. 大会の概要

2.1 見学(2ヶ所を見学)

2.1.a 財団法人 鉄道総合技術研究所(国分寺市)

参加者 25 名

超電導磁石・リニア車両、燃料電池車両、車両試験台、大型降雨実験装置など 4 箇所を見学。熱心な質疑もあって、充実した見学となった。

2.1.b 株式会社 東芝 府中営業所(府中市)

参加者 45 名

敷地内線路での大型電気機関車の走行試験と製造工程を見学、次の食堂排水の高度処理施設では処理の流れと地域環境への配慮がよくわかった。

2.2 研究会

日本技術士会高橋修会長の開会挨拶、来賓、東京都産業労働局総務部長塚田祐次氏から、2008 年

度産業振興策定案において、技術継承・後継者問題などの解決に努力すると挨拶があった。(写真)



2.3 特別講演:経済産業省中小企業庁経営

支援部 技術課長 中野節氏

特に下請適正取引推進センター（仮称）を整備し気軽に相談できるシステムを作る。

平成 20 年度予算案の重要な点は「付加価値の創造」、「経営力の向上」、「事業環境の整備において中小企業の持続的成長と地域の活性化を図る」ことで、資金調達円滑化の支援策の機能を強化する。

2.4 基調講演:(社)首都圏産業活性化(TAMA)

協会専務理事 兼 TAMA-TLO(株)

代表取締役 井深 丹氏(写真)

TLO とは大学研究者の発明を特許化して、企業



に技術移転し、ロイヤリティを得て、大学の研究を活性化する組織である。 今大会のテーマ「知（大学・研究機関）と技術（ものづくり・企業）の交流（産学連携）」を支援するコーディネーター役を担う人材が必要で、これが技術士と考える。

2.5 パネルディスカッション 多摩地区でのイノベーション活動について

コーディネーター：地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター理事長 井上滉氏

産技研は研究開発の支援、機器の利用や知的財産の活用に関して日本全国の大学・研究機関と都の中小企業を結ぶ「場」を提供している。 産学公連携のコーディネーター事業の強化に努めている。



パネリスト：(写真)

a. 東成エレクトロビーム株式会社

代表取締役社長 上野 保氏

電子ビームやレーザーを用いた材料加工における日常的開発に加え最新鋭の加工機を導入、世界一の規模とレベルの設備と加工ノウハウを有する。また、環境に関する取り組みと共に、異業種 5 社の FIVE.TECH.NET 連携をする。意欲ある中小企

業が主役の時代となった。

b. 京西テクノス株式会社

代表取締役社長 臼井 努氏

「情報」「通信」「計測」をキーワードに、製品に独自の「Quality Gate」を設けて最良の品質、プロセス創出を提供。今後、国内外製品に対し「トータルマルチベンダーサービス」、自社技術を提供する「顧客ダイレクトサービス」、革新的かつ独創的な「自社プロダクトの創出」を実現していく。

c. 三鷹光機株式会社

代表取締役社長 中村勝重氏

大型望遠鏡や観測用ロケット・観測用衛星搭載の宇宙観測機器の設計製作の技術を基に、非接触 3 次元測定器、脳神経外科手術用の顕微鏡スタンド、光学測定装置や医療機器等の製造販売が主力。「設計図は現場にあり」をモットーに、顧客満足へ鋭意努力を続ける。

d. 技術士に関するパネリストの考え

- ・ TAMA 協会に技術士が入ってほしい。産学公プロジェクトに技術士の参加を議論する場を設けたい。
- ・ 中小企業には特許や商標登録の知識が少ないので技術士の支援を求めたい。
- ・ 古い基本的な知識が不足しているので、補うための技術士の指導・サービスがほしい。

3. 交流会；会場を近くの立川グランドホテルに移し、多摩地区で初めての当大会の話題や、参加の皆様の盛んな意見交換やビジネストークによる活気あふれるコミュニケーションがなされ成功裏に閉会した。

4. 総括；東京都産業労働施策から得たテーマの下、人口・事業所数・出荷額・大学数で全国でも 10 位前後の多摩地区開催で、各分野の関係者の御協力を得られたことは、本研究会・交流会は、技術士の産業界との協働の端緒になる事業と評価できると共に、今後の技術士活動への示唆を与えた。